



平成 26 年 12 月 12 日

各 位

会社名 オカモト株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡本 良幸
(コード番号 5122 東証第 1 部)
問合せ先 取締役総務部長 有坂 衛
(TEL. 03-3817-4121)

(訂正)「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 30 日付適時開示「不適切な会計処理の判明について」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成 24 年 11 月 2 日付「平成 25 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

なお、訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には__を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,963	2.6	1,191	19.3	1,383	14.7	776	△9.6
24年3月期第2四半期	32,132	1.8	998	△35.1	1,205	△20.1	858	△7.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 41百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △164百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	7.45	—
24年3月期第2四半期	8.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	66,679	37,794	56.7
24年3月期	68,972	38,514	55.8

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 37,794百万円 24年3月期 38,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
25年3月期	—	3.75	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	2.5	3,000	20.4	3,200	8.6	1,900	28.1	18.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものがあります。詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	108,996,839株	24年3月期	108,996,839株
25年3月期2Q	5,329,284株	24年3月期	4,153,859株
25年3月期2Q	104,196,076株	24年3月期2Q	107,161,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
(4) 追加情報	<u>P. 4</u>
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復の兆しがみられるものの、長期化する円高の進行や世界経済の減速による輸出の減少、また隣国との領土問題に端を発した国家間の摩擦による経済活動の悪化が懸念され、景気の先行きは依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減に引き続き注力し、売上高の伸長が大きく望めない環境下でも営業利益を確保できる体制作りに進進してまいりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は329億63百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は11億91百万円(前年同期比19.3%増)、経常利益は13億83百万円(前年同期比14.7%増)、四半期純利益は7億76百万円(前年同期比9.6%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般フィルムは、養生用等の受注が堅調だったものの、海外需要の減少により、売上減となりました。農業用フィルムは、災害からの復旧需要により、売上増となりました。壁紙は、マンション建設の増加により、売上増となりました。フレキシブルコンテナは、震災復興関連の需要が発生し、売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの生産が昨年比に比べ順調で、特に北米での増産が堅調に推移したため、売上大幅増となりました。粘着テープは、国内需要の減少による販売競争激化のなか、新規販売先獲得に注力したものの、売上減となりました。工業用テープは、電材業界の低迷により受注が減少し、売上減となりました。食品衛生関連商品においては、依然として市況は厳しいものの、商権回復により、売上微増となりました。食品保存用ピチット製品は、震災の復興により一昨年並みに需要が回復し、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は195億91百万円(前年同期比5.4%増)、セグメント利益は6億80百万円(前年同期比18.7%増)となりました。

② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が好調で、売上増となりました。カイロは、残暑の影響で売場への導入が遅れたため、売上減となりました。除湿剤は、販売先の増加により売上増となりました。滅菌器は、需要減少により、売上減となりました。手袋は、一般用が小売店を中心に販売が好調だったものの、産業用がIT・IC関連の需要低迷の影響を受けるなど、売上減となりました。シューズは、新商材の開発・投入により、堅調に推移しました。雨衣・ブーツ類は、記録的な猛暑の影響で販売が苦戦したものの、積極的な販売政策のもと新規取引先も増加し、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は133億72百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は11億94百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円(前年同期比96.4%減)、セグメント利益は62百万円(前年同期比14.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は666億79百万円で、前連結会計年度末と比べ22億92百万円減少しております。

流動資産は407億66百万円で、前連結会計年度末と比べ17億57百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金10億37百万円、受取手形及び売掛金21億46百万円が減少し、たな卸資産全体で15億92百万円増加したことによるものです。

固定資産は259億13百万円で、前連結会計年度末と比べ5億35百万円の減少となりました。これは主として、投資有価証券が7億87百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は288億84百万円で、前連結会計年度末と比べ15億73百万円減少しております。

流動負債は237億72百万円で、前連結会計年度末と比べ12億16百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金4億20百万円、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円、その他2億14百万円が減少し、短期借入金が20億2百万円増加したことによるものです。

固定負債は51億12百万円で、前連結会計年度末と比べ3億56百万円減少しております。これは主として、その他が5億17百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は377億94百万円で、前連結会計年度末と比べ7億19百万円減少しております。これは主として、利益剰余金3億83百万円、自己株式3億68百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が7億68百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績につきましては、最近の決算短信(平成24年5月11日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(不適切な会計処理について)

当社静岡工場において、不適切な会計処理が判明したことから、外部の専門家で構成される第三者委員会を設置し調査を進めてまいりました。

その結果、過去に行われた取引の一部に関して不適切な会計処理が確認されました。

(訂正報告書の提出について)

当社の不適切な会計処理について、当社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき過去に提出いたしました四半期報告書に記載されている四半期連結財務諸表に含まれる不適切な会計処理を訂正し、四半期報告書の訂正報告書を提出することを決定しました。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,632	8,594
受取手形及び売掛金	21,682	19,536
商品及び製品	<u>6,515</u>	<u>8,024</u>
仕掛品	<u>1,317</u>	<u>1,332</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,549</u>	<u>1,617</u>
その他	<u>1,848</u>	<u>1,681</u>
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	<u>42,523</u>	<u>40,766</u>
固定資産		
有形固定資産	14,877	14,993
無形固定資産	273	208
投資その他の資産		
投資有価証券	10,649	9,861
その他	<u>867</u>	<u>1,053</u>
貸倒引当金	△23	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>11,298</u>	<u>10,711</u>
固定資産合計	<u>26,448</u>	<u>25,913</u>
資産合計	<u>68,972</u>	<u>66,679</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,723	16,302
1年内償還予定の社債	1,500	—
短期借入金	1,027	3,030
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払法人税等	756	643
賞与引当金	753	781
その他	3,227	3,013
流動負債合計	24,988	23,772
固定負債		
退職給付引当金	3,593	3,753
その他	1,876	1,358
固定負債合計	5,469	5,112
負債合計	30,457	28,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	23,690	24,073
自己株式	△1,436	△1,804
株主資本合計	35,661	35,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,589	2,821
繰延ヘッジ損益	10	△8
為替換算調整勘定	△746	△694
その他の包括利益累計額合計	2,853	2,118
純資産合計	38,514	37,794
負債純資産合計	68,972	66,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	32,132	32,963
売上原価	24,989	25,891
売上総利益	7,143	7,072
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,420	1,445
その他の販売費	1,288	1,112
給料及び賞与	1,422	1,409
賞与引当金繰入額	293	287
退職給付引当金繰入額	80	72
貸倒引当金繰入額	1	—
その他の一般管理費	1,637	1,554
販売費及び一般管理費合計	6,144	5,880
営業利益	998	1,191
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	190	168
不動産賃貸料	254	208
その他	118	46
営業外収益合計	568	434
営業外費用		
支払利息	32	30
不動産賃貸費用	84	73
為替差損	192	86
その他	53	53
営業外費用合計	361	243
経常利益	1,205	1,383
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	—	87
その他	—	4
特別利益合計	—	99
特別損失		
固定資産除却損	—	5
災害による損失	9	11
環境対策費	44	—
特別損失合計	53	16
税金等調整前四半期純利益	1,151	1,465
法人税、住民税及び事業税	352	723
過年度法人税等	—	71
法人税等調整額	△59	△105
法人税等合計	293	688
少数株主損益調整前四半期純利益	858	776
四半期純利益	858	776

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	858	776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△987	△767
繰延ヘッジ損益	△25	△18
為替換算調整勘定	△12	52
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	△1,023	△734
四半期包括利益	△164	41
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△164	41
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,151	1,465
減価償却費	1,249	1,119
賞与引当金の増減額(△は減少)	37	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	168	160
受取利息及び受取配当金	△195	△179
支払利息	32	30
為替差損益(△は益)	17	9
持分法による投資損益(△は益)	△19	2
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△86
固定資産売却損益(△は益)	—	△7
固定資産除却損	—	5
売上債権の増減額(△は増加)	2,088	2,151
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,550	△1,581
その他の資産の増減額(△は増加)	49	290
仕入債務の増減額(△は減少)	1,082	△454
その他の負債の増減額(△は減少)	△473	△536
その他	△44	△21
小計	2,593	2,378
利息及び配当金の受取額	195	179
利息の支払額	△32	△31
法人税等の支払額	△355	△906
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,401	1,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,447	△867
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	51
投資有価証券の取得による支出	△6	△415
投資有価証券の売却による収入	—	96
その他	△72	△228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,525	△1,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7	2,002
長期借入金の返済による支出	—	△1,000
社債の償還による支出	—	△1,500
自己株式の取得による支出	△578	△368
配当金の支払額	△405	△392
その他	△60	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△1,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184	△1,037
現金及び現金同等物の期首残高	9,453	9,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,269	8,144

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,579	13,553	32,132	0	32,132	—	32,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	138	150	1,522	1,673	△1,673	—
計	18,591	13,691	32,282	1,523	33,806	△1,673	32,132
セグメント利益	<u>573</u>	1,043	<u>1,617</u>	73	<u>1,691</u>	△692	<u>998</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△699百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>19,591</u>	13,372	<u>32,963</u>	0	<u>32,963</u>	—	<u>32,963</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	126	137	1,528	1,666	△1,666	—
計	<u>19,602</u>	13,498	<u>33,101</u>	1,528	<u>34,630</u>	△1,666	<u>32,963</u>
セグメント利益	<u>680</u>	1,194	<u>1,875</u>	62	<u>1,938</u>	△746	<u>1,191</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△746百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場会社名 オカモト株式会社 上場取引所 東
コード番号 5122 URL <http://www.okamoto-inc.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡本 良幸
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)高島 寛 (TEL)03-3817-4121
四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 平成24年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	32,973	2.6	1,319	29.5	1,510	23.2	861	△1.1
24年3月期第2四半期	32,132	1.8	1,018	△33.8	1,225	△18.8	870	△6.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 126百万円(—%) 24年3月期第2四半期 △152百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
25年3月期第2四半期	円 銭 8.26	円 銭 —
24年3月期第2四半期	円 銭 8.12	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
25年3月期第2四半期	百万円 66,800	百万円 37,916	% 56.8
24年3月期	百万円 69,008	百万円 38,550	% 55.9

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 37,916百万円 24年3月期 38,550百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
24年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50
25年3月期	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
25年3月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.75	円 銭 7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,500	2.5	3,000	17.5	3,200	6.3	1,900	24.4	18.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものがあります。詳細は添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	108,996,839株	24年3月期	108,996,839株
25年3月期2Q	5,329,284株	24年3月期	4,153,859株
25年3月期2Q	104,196,076株	24年3月期2Q	107,161,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報等	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景として緩やかに回復の兆しがみられるものの、長期化する円高の進行や世界経済の減速による輸出の減少、また隣国との領土問題に端を発した国家間の摩擦による経済活動の悪化が懸念され、景気の先行きは依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、国内での営業力の更なる強化に努め、製造コストと営業経費の削減に引き続き注力し、売上高の伸長が大きく望めない環境下でも営業利益を確保できる体制作りに邁進してまいりました。

結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は329億73百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は13億19百万円(前年同期比29.5%増)、経常利益は15億10百万円(前年同期比23.2%増)、四半期純利益は8億61百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般フィルムは、養生用等の受注が堅調だったものの、海外需要の減少により、売上減となりました。農業用フィルムは、災害からの復旧需要により、売上増となりました。壁紙は、マンション建設の増加により、売上増となりました。フレキシブルコンテナは、震災復興関連の需要が発生し、売上増となりました。自動車内装材は、自動車メーカーの生産が昨年比に比べ順調で、特に北米での増産が堅調に推移したため、売上大幅増となりました。粘着テープは、国内需要の減少による販売競争激化のなか、新規販売先獲得に注力したものの、売上減となりました。工業用テープは、電材業界の低迷により受注が減少し、売上減となりました。食品衛生関連商品においては、依然として市況は厳しいものの、商権回復により、売上微増となりました。食品保存用ピチット製品は、震災の復興により一昨年並みに需要が回復し、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は196億1百万円(前年同期比5.5%増)、セグメント利益は8億8百万円(前年同期比36.1%増)となりました。

② 生活用品

コンドームは、市場が縮小傾向にあるものの、薄物の企画・販売が好調で、売上増となりました。カイロは、残暑の影響で売場への導入が遅れたため、売上減となりました。除湿剤は、販売先の増加により売上増となりました。滅菌器は、需要減少により、売上減となりました。手袋は、一般用が小売店を中心に販売が好調だったものの、産業用がIT・IC関連の需要低迷の影響を受けるなど、売上減となりました。シューズは、新商材の開発・投入により、堅調に推移しました。雨衣・ブーツ類は、記録的な猛暑の影響で販売が苦戦したものの、積極的な販売政策のもと新規取引先も増加し、売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は133億72百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は11億94百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は0百万円(前年同期比96.4%減)、セグメント利益は62百万円(前年同期比14.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は668億円で、前連結会計年度末と比べ22億7百万円減少しております。

流動資産は408億83百万円で、前連結会計年度末と比べ16億72百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金10億37百万円、受取手形及び売掛金21億46百万円が減少し、たな卸資産全体で17億9百万円増加したことによるものです。

固定資産は259億17百万円で、前連結会計年度末と比べ5億35百万円の減少となりました。これは主として、投資有価証券が7億87百万円減少したことによるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における総負債は288億84百万円で、前連結会計年度末と比べ15億73百万円減少しております。

流動負債は237億72百万円で、前連結会計年度末と比べ12億16百万円の減少となりました。これは主として、支払手形及び買掛金4億20百万円、1年内償還予定の社債15億円、1年内返済予定の長期借入金10億円、その他2億14百万円が減少し、短期借入金が20億2百万円増加したことによるものです。

固定負債は51億12百万円で、前連結会計年度末と比べ3億56百万円減少しております。これは主として、その他が5億17百万円減少したことによるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は379億16百万円で、前連結会計年度末と比べ6億34百万円減少しております。これは主として、利益剰余金4億67百万円、自己株式3億68百万円が増加し、その他有価証券評価差額金が7億68百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績につきましては、最近の決算短信(平成24年5月11日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,632	8,594
受取手形及び売掛金	21,682	19,536
商品及び製品	<u>6,508</u>	<u>7,997</u>
仕掛品	<u>1,391</u>	<u>1,534</u>
原材料及び貯蔵品	<u>1,553</u>	<u>1,631</u>
その他	<u>1,809</u>	<u>1,610</u>
貸倒引当金	△22	△21
流動資産合計	<u>42,556</u>	<u>40,883</u>
固定資産		
有形固定資産	14,877	14,993
無形固定資産	273	208
投資その他の資産		
投資有価証券	10,649	9,861
その他	<u>871</u>	<u>1,057</u>
貸倒引当金	△23	△7
投資損失引当金	△195	△195
投資その他の資産合計	<u>11,301</u>	<u>10,715</u>
固定資産合計	<u>26,452</u>	<u>25,917</u>
資産合計	<u>69,008</u>	<u>66,800</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,723	16,302
1年内償還予定の社債	1,500	—
短期借入金	1,027	3,030
1年内返済予定の長期借入金	1,000	—
未払法人税等	756	643
賞与引当金	753	781
その他	3,227	3,013
流動負債合計	24,988	23,772
固定負債		
退職給付引当金	3,593	3,753
その他	1,876	1,358
固定負債合計	5,469	5,112
負債合計	30,457	28,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	359	359
利益剰余金	23,733	24,201
自己株式	△1,436	△1,804
株主資本合計	35,704	35,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,582	2,814
繰延ヘッジ損益	10	△8
為替換算調整勘定	△746	△694
その他の包括利益累計額合計	2,846	2,112
純資産合計	38,550	37,916
負債純資産合計	69,008	66,800

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	32,132	32,973
売上原価	24,969	25,773
売上総利益	7,163	7,199
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,420	1,445
その他の販売費	1,288	1,112
給料及び賞与	1,422	1,409
賞与引当金繰入額	293	287
退職給付引当金繰入額	80	72
貸倒引当金繰入額	1	—
その他の一般管理費	1,637	1,554
販売費及び一般管理費合計	6,144	5,880
営業利益	1,018	1,319
営業外収益		
受取利息	5	10
受取配当金	190	168
不動産賃貸料	254	208
その他	118	46
営業外収益合計	568	434
営業外費用		
支払利息	32	30
不動産賃貸費用	84	73
為替差損	192	86
その他	53	53
営業外費用合計	361	243
経常利益	1,225	1,510
特別利益		
固定資産売却益	—	7
投資有価証券売却益	—	87
その他	—	4
特別利益合計	—	99
特別損失		
固定資産除却損	—	5
災害による損失	9	11
環境対策費	44	—
特別損失合計	53	16
税金等調整前四半期純利益	1,171	1,592
法人税、住民税及び事業税	352	723
過年度法人税等	—	71
法人税等調整額	△50	△63
法人税等合計	301	731
少数株主損益調整前四半期純利益	870	861
四半期純利益	870	861

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	870	861
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△987	△767
繰延ヘッジ損益	△25	△18
為替換算調整勘定	△12	52
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△1
その他の包括利益合計	△1,023	△734
四半期包括利益	△152	126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△152	126
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,171	1,592
減価償却費	1,249	1,119
賞与引当金の増減額(△は減少)	37	28
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	168	160
受取利息及び受取配当金	△195	△179
支払利息	32	30
為替差損益(△は益)	17	9
持分法による投資損益(△は益)	△19	2
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△86
固定資産売却損益(△は益)	—	△7
固定資産除却損	—	5
売上債権の増減額(△は増加)	2,088	2,151
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,569	△1,699
その他の資産の増減額(△は増加)	49	280
仕入債務の増減額(△は減少)	1,082	△454
その他の負債の増減額(△は減少)	△473	△536
その他	△44	△21
小計	2,593	2,378
利息及び配当金の受取額	195	179
利息の支払額	△32	△31
法人税等の支払額	△355	△906
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,401	1,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,447	△867
有形及び無形固定資産の売却による収入	0	51
投資有価証券の取得による支出	△6	△415
投資有価証券の売却による収入	—	96
その他	△72	△228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,525	△1,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7	2,002
長期借入金の返済による支出	—	△1,000
社債の償還による支出	—	△1,500
自己株式の取得による支出	△578	△368
配当金の支払額	△405	△392
その他	△60	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,051	△1,309
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	15
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△184	△1,037
現金及び現金同等物の期首残高	9,453	9,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,269	8,144

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,579	13,553	32,132	0	32,132	—	32,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	138	150	1,522	1,673	△1,673	—
計	18,591	13,691	32,282	1,523	33,806	△1,673	32,132
セグメント利益	<u>593</u>	1,043	<u>1,637</u>	73	<u>1,711</u>	△692	<u>1,018</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△692百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△699百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	<u>19,601</u>	13,372	<u>32,973</u>	0	<u>32,973</u>	—	<u>32,973</u>
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	126	137	1,528	1,666	△1,666	—
計	<u>19,612</u>	13,498	<u>33,111</u>	1,528	<u>34,640</u>	△1,666	<u>32,973</u>
セグメント利益	<u>808</u>	1,194	<u>2,002</u>	62	<u>2,065</u>	△746	<u>1,319</u>

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△746百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△753百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。